

岩手県感染症週報

平成19年第13週（3月26日～4月1日）

岩手県結核 感染症情報センター

第13週の概要

1 類感染症

2 類感染症

・患者の報告はありませんでした。

3 類感染症

・腸管出血性大腸菌感染症（O121）の報告が盛岡地区より1例ありました。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは県全体で前週より患者数が大きく減少しました。この週に患者数がやや増加しているのは久慈地区（定点あたり患者数29.7）のみで、その他の地区は前週より減少しました。またこの週にもっとも報告数が多い地区は北上地区で、前週より減少しましたが警報値（定点あたり患者数30人）を超えています。全国的にも患者数が減少していますが、これから新学期が始まり集団生活の機会が増えるので、今後とも注意が必要です。帰宅時の手洗いとうがい、外出時のマスクの着用、室内の適度な保湿、十分な栄養と休養が重要です。
- ・溶連菌咽頭炎は二戸地区で警報値（同4人）を超えました。
- ・伝染性紅斑は、北上及び釜石地区で警報値（同2人）を超えました。
- ・新学期のスタートと共に、学校や施設などの集団生活を営む場で感染性胃腸炎やインフルエンザなどの集団発生が起きる可能性があります。帰宅後の手洗いやうがい、胃腸炎の患者の汚物処理や手袋の着用や消毒など、基本的な感染予防対策の再確認に努めましょう。

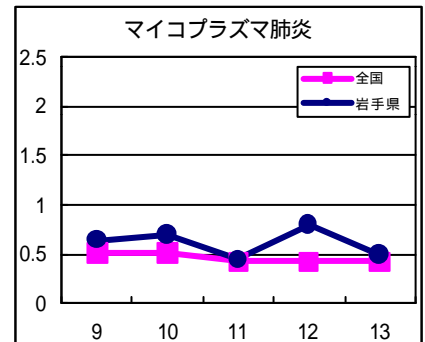
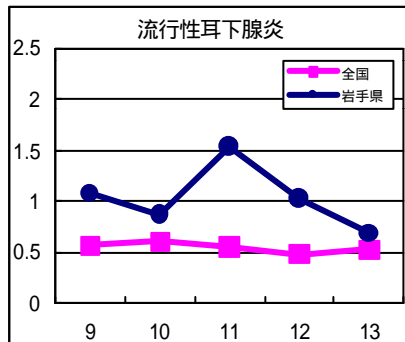
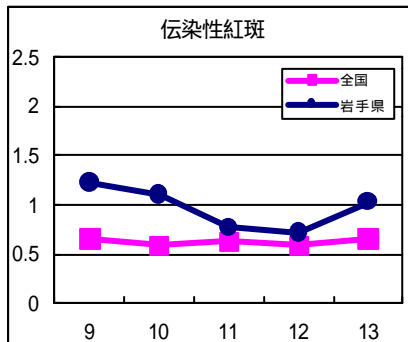
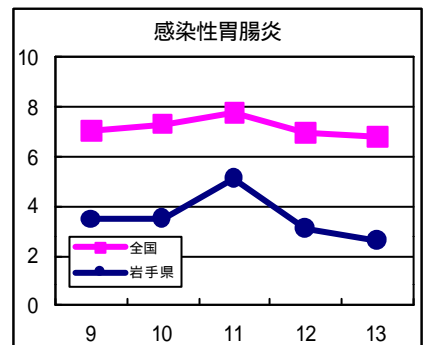
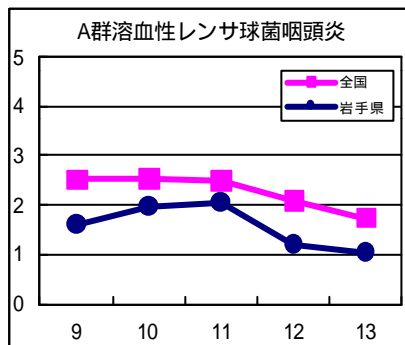
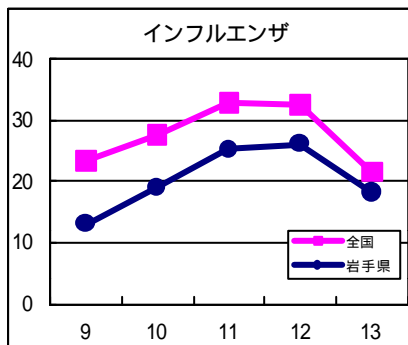
4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		9	10	11	12	13		
インフルエンザ	岩手県	13.02	18.98	25.19	26.16	18.03	↓	
	全国	23.37	27.57	32.94	32.46	21.48		
RSウイルス感染症	岩手県	0.38	0.18	0.1	0.54	0.08	↓	
	全国	0.32	0.23	0.19	0.12	0.12		
咽頭結膜熱	岩手県	0.08	0.26	0.23	0.13	0.13	→	
	全国	0.32	0.32	0.29	0.25	0.26		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.59	1.97	2.05	1.21	1.03	→	
	全国	2.51	2.52	2.5	2.09	1.74		
感染性胃腸炎	岩手県	3.46	3.49	5.08	3.08	2.59	↓	
	全国	7.03	7.29	7.77	6.94	6.8		
水痘	岩手県	1.79	1.62	2.33	2.13	2.21	→	
	全国	2.32	2.21	2.22	2.15	2.13		
手足口病	岩手県	0.21	0.36	0.15	0.28	0.08	→	
	全国	0.31	0.28	0.29	0.22	0.19		
伝染性紅斑	岩手県	1.23	1.1	0.77	0.72	1.03	→	
	全国	0.66	0.59	0.63	0.59	0.66		
突発性発疹	岩手県	0.15	0.28	0.36	0.33	0.59	→	
	全国	0.58	0.57	0.59	0.5	0.57		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.23	0.23	0.13	0.1	0.1	→	
	全国	0.04	0.06	0.05	0.03	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.08	0.87	1.54	1.03	0.69	↓	
	全国	0.57	0.61	0.56	0.49	0.53		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.03	0.03	0.04		
流行性角結膜炎	岩手県	0.92	0.75	1	0.83	0.5	→	
	全国	0.63	0.66	0.66	0.7	0.74		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.65	0.7	0.45	0.8	0.5	→	
	全国	0.52	0.51	0.43	0.43	0.43		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.02	0.02	0.02		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ↓ : 患者が発生しています
- ↑ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

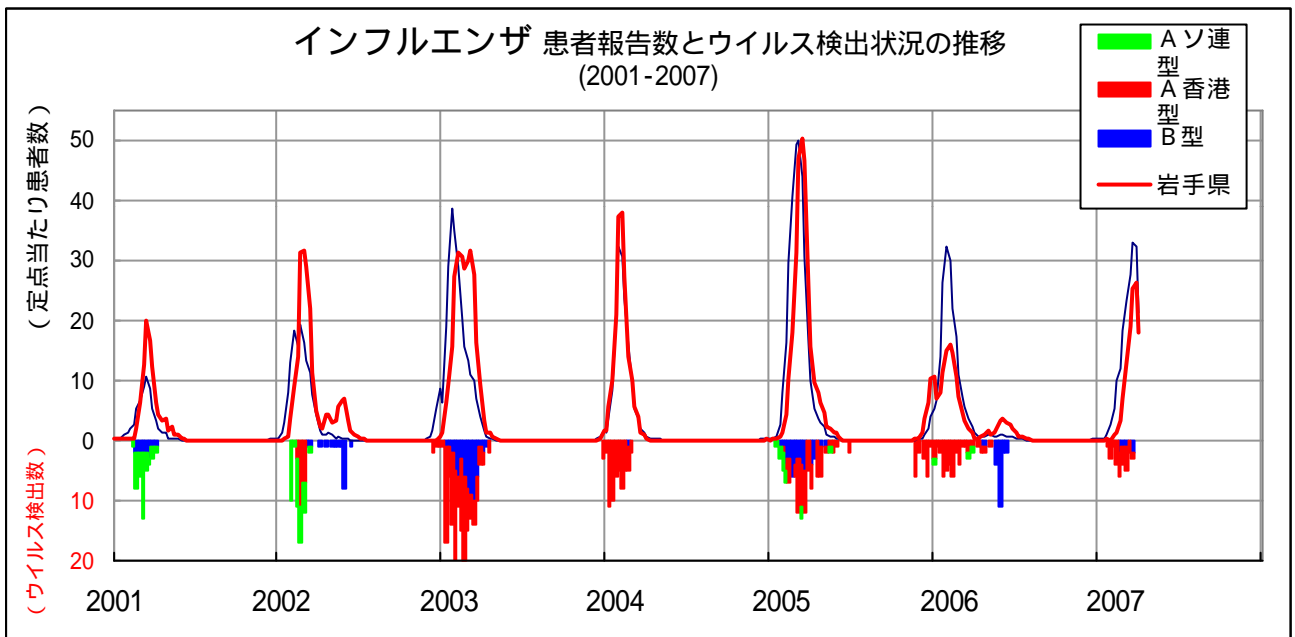
分類	疾病名	（週） 岩手県					全国		
		9	10	11	12	13	累計	13	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	13	125
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	9
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	4
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	1	1	10	162
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	13
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	1	40
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	7
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	2	41
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	11
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	1	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	7
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	5	89	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	5	177
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	32
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	2	50
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	41
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	33
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	6	282
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	9
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	3
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	3	112
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	13
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	18

今注目の感染症

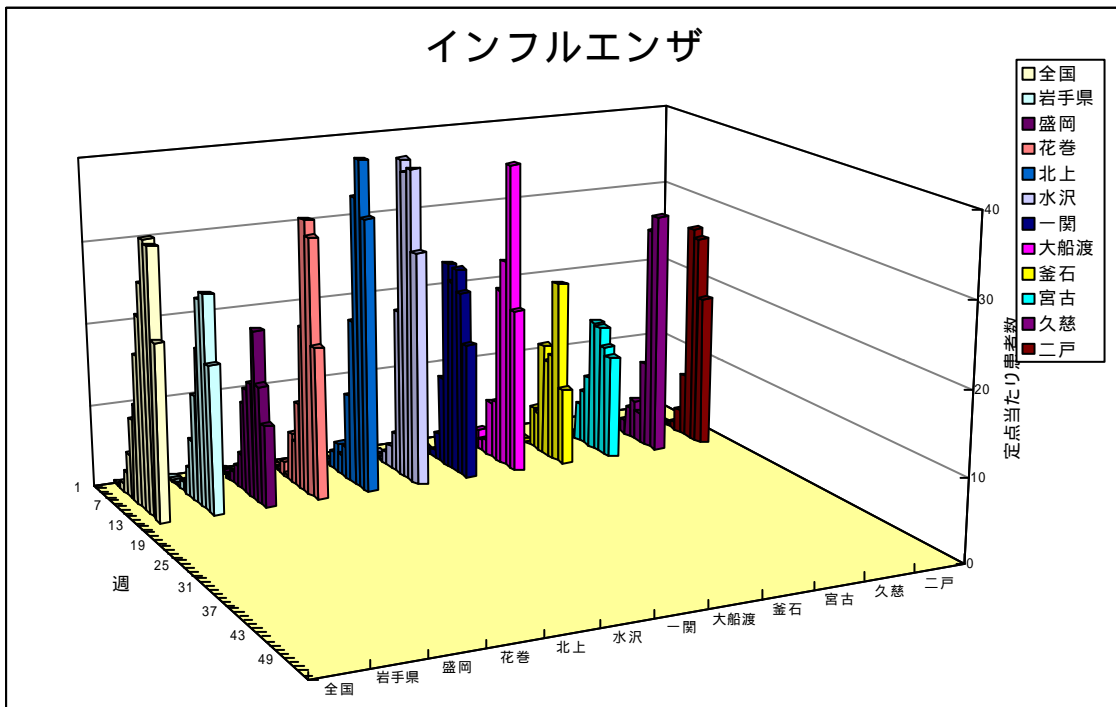
インフルエンザ

インフルエンザは、北上地区で警報値（定点あたり患者数30人）を超え、7地区で注意報値（同10人）を超えています。環境保健研究センターで行っているウイルス検査では、A香港型およびB型インフルエンザウイルスが分離検出されています。

予防には、帰宅時の手洗いやうがい、外出時のマスクの着用、適切な湿度の保持（50～60%）、十分な休養と栄養が重要です。また、インフルエンザにかかったと考えられる場合は、早めに医療機関を受診するとともに、咳やくしゃみをする際には、ハンカチやティッシュで口元を覆う、あるいはマスクを着用するなど、周囲への配慮が望まれます。



インフルエンザの定点あたり患者数、地区別



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液から A 香港型インフルエンザウイルスを 1 例分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学校等の閉鎖措置状況（3月28日まで）

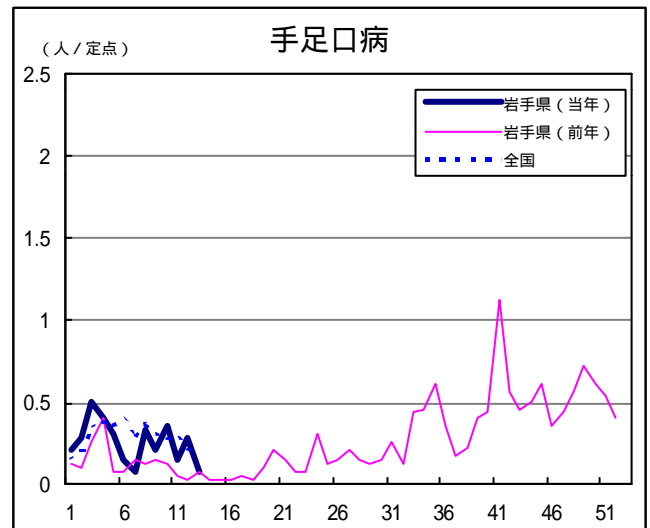
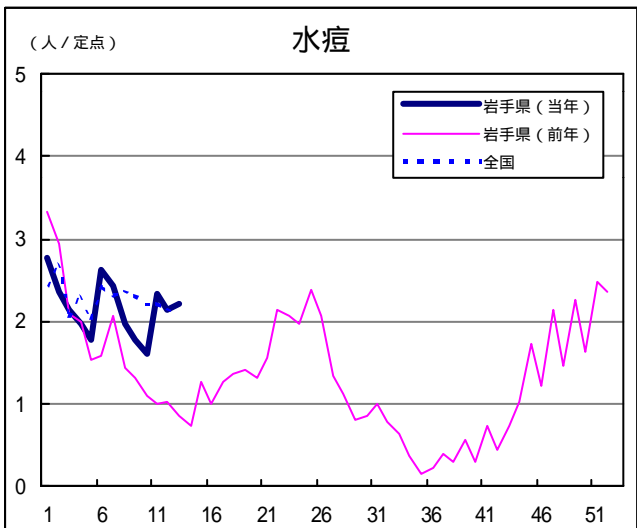
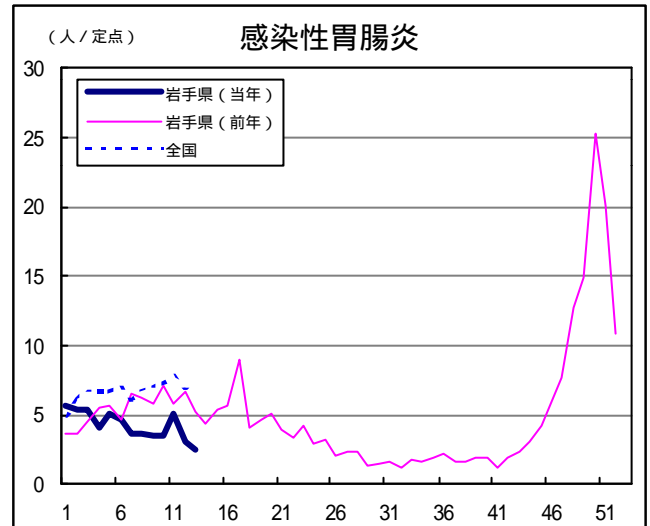
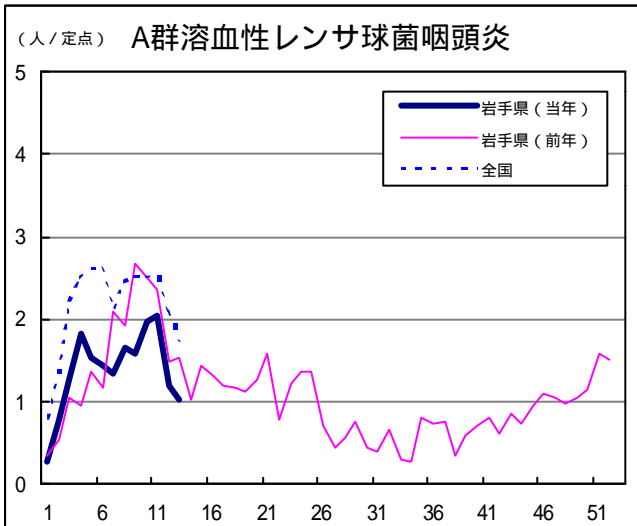
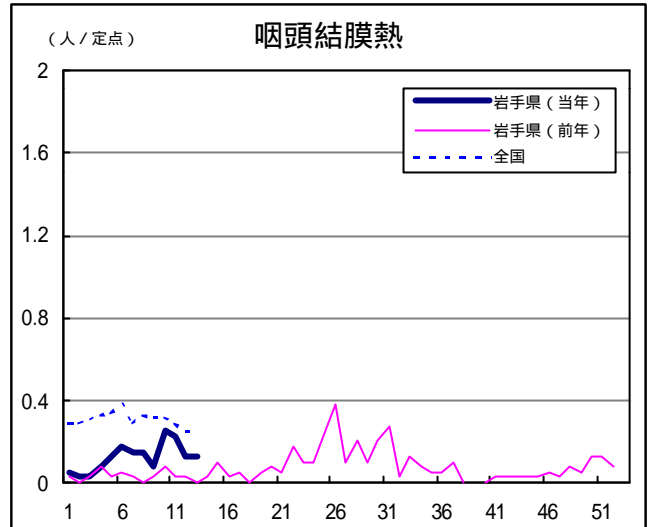
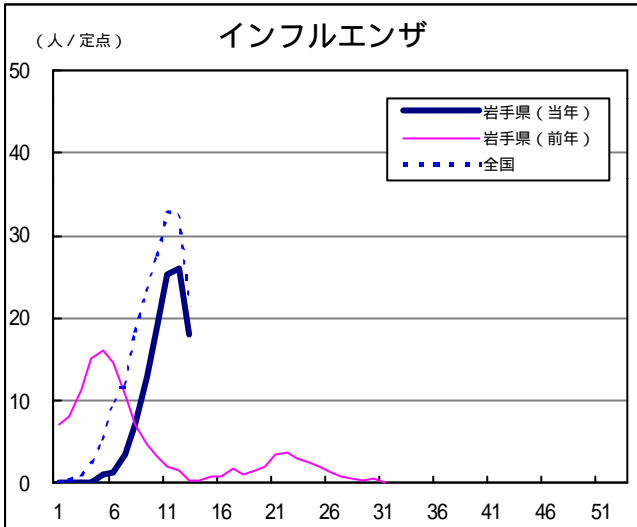
岩手県	盛岡	花巻	北上	奥州	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
32	9	0	1	2	3	3	3	1	5	5

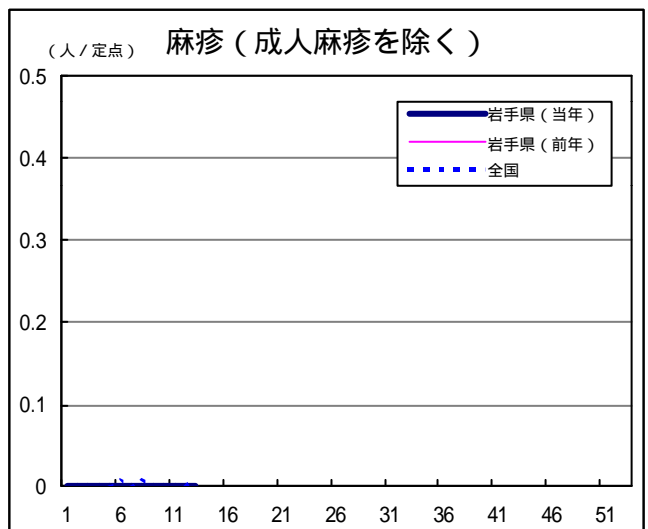
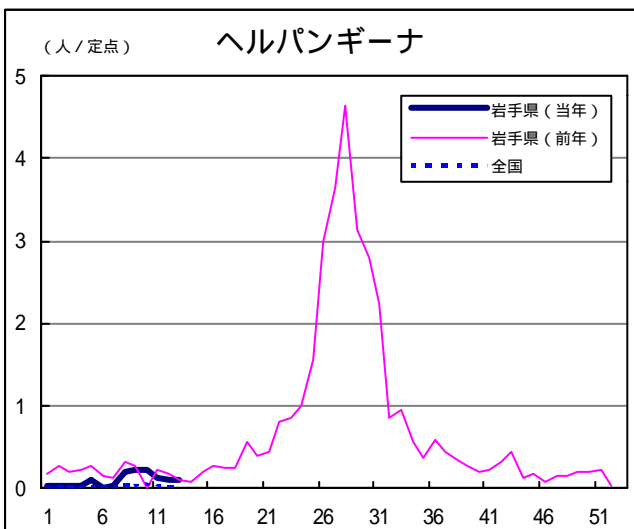
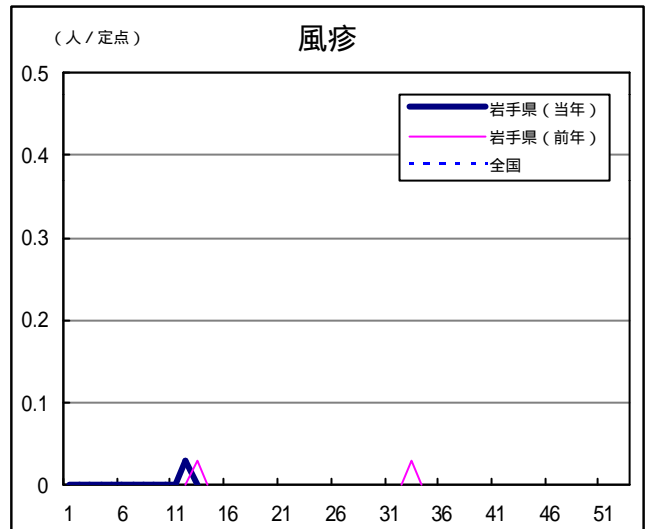
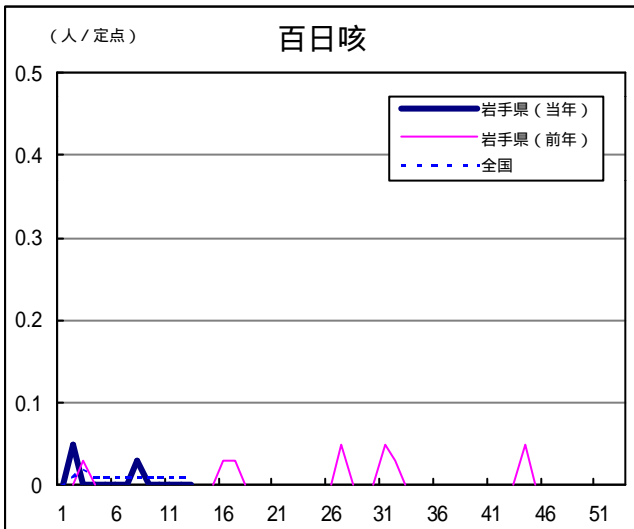
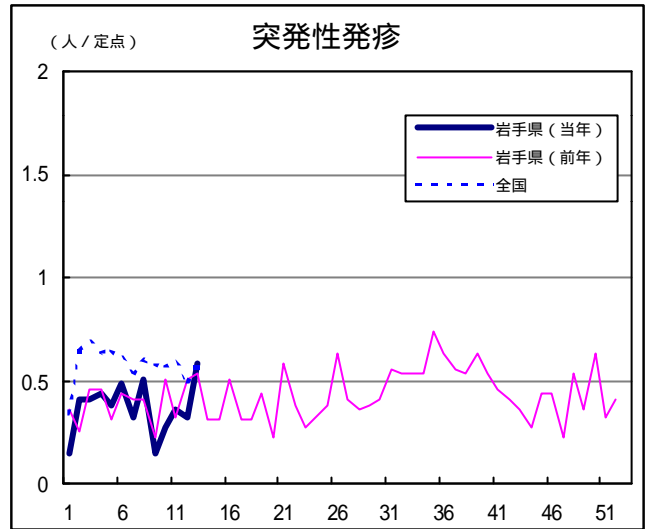
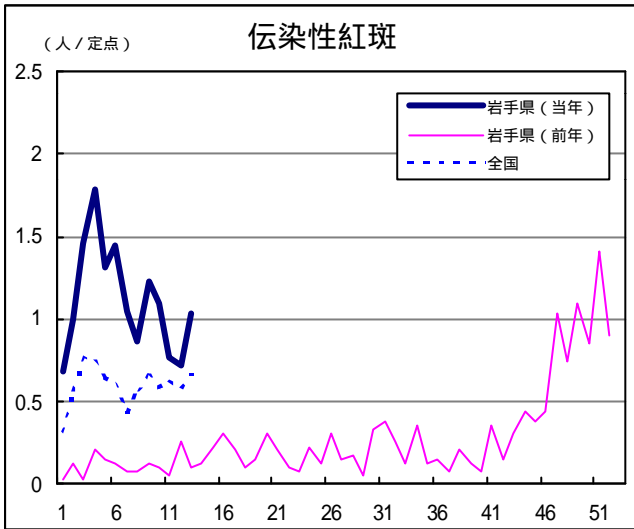
Q & A

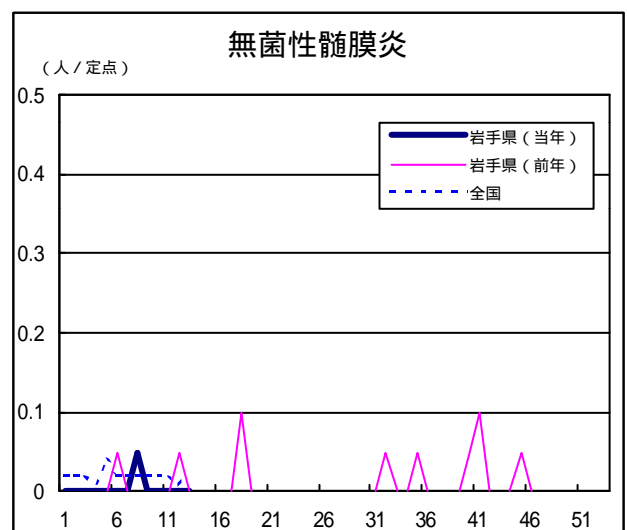
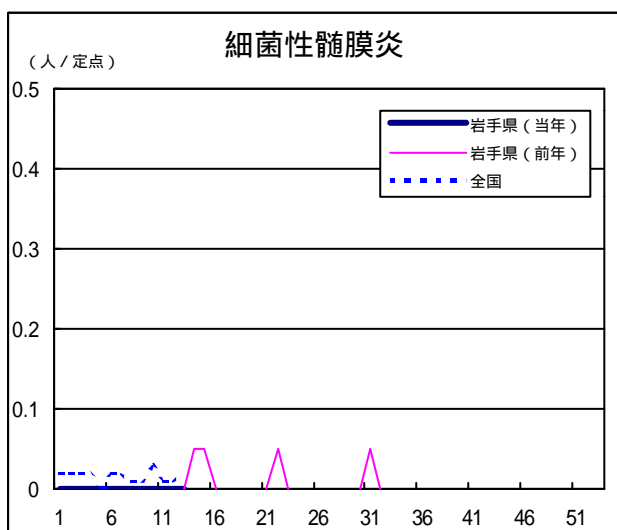
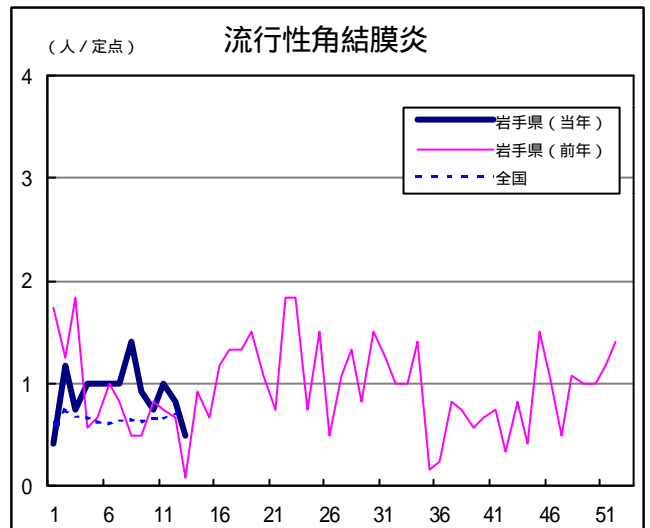
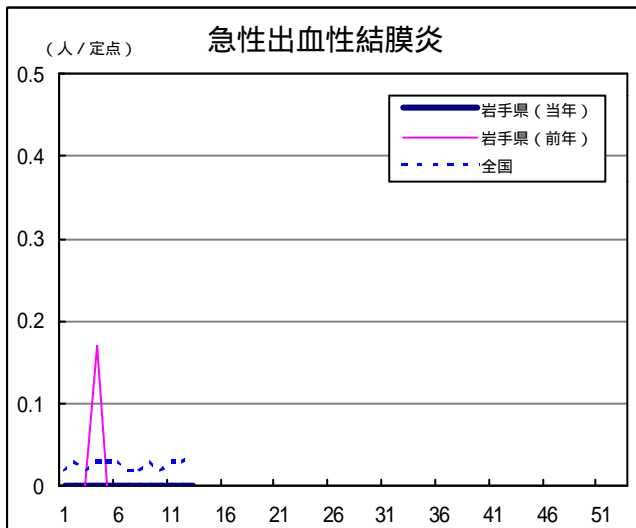
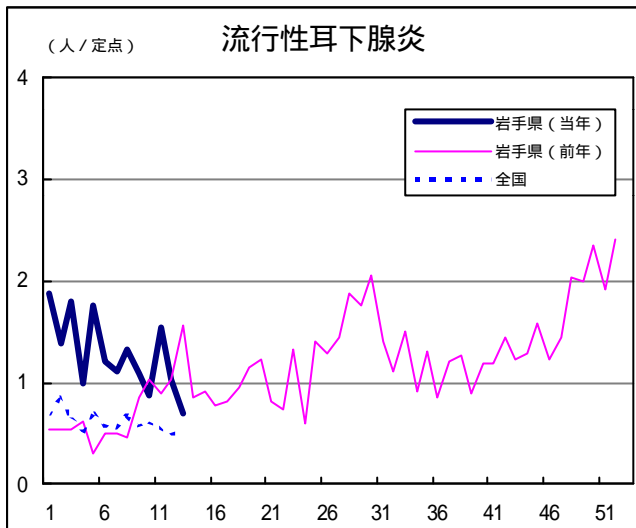
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

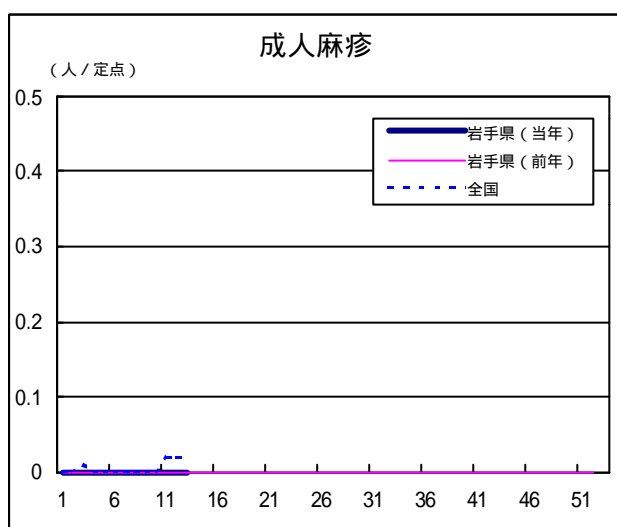
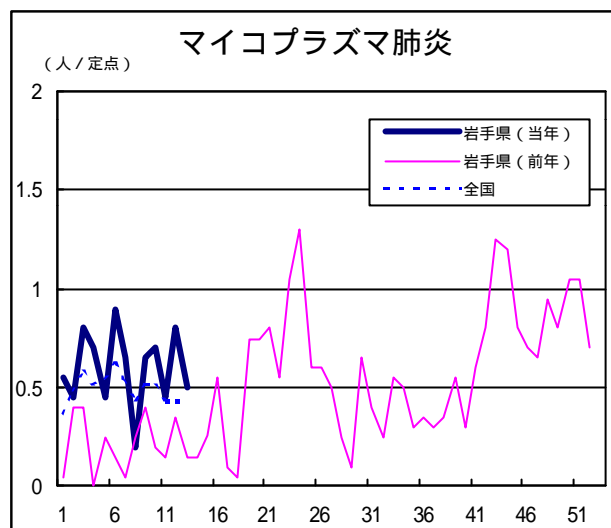
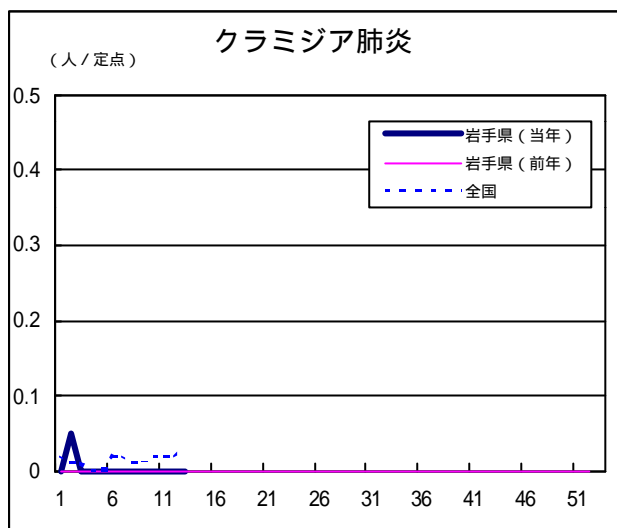
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成19年第13週 平成19年4月6日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>